

北京日本学研究中心

通

讯

《第 1 3 号》

责任编辑：山下纪久枝 雒燕 邮政编码：100081 Tel: 8422277--584 1991.9.15

简 讯

- ◎ 新学期伊始，“中心”新的日方派遣教师已陆续到任。在此，我们对已经期满归国和继续留任的各位专家表示衷心的感谢，并对新到的专家表示热烈的欢迎。本学期新派遣专家名单见另页。
- ◎ 9月4日下午2：30分，“中心”在北京外国语学院东院学术报告厅举行了开学典礼，中国国家教育委员会社会科学研究与艺术教育司外语教育处张文友副处长、国际合作司亚非处阎丽女士，日本国际交流基金山田正春部长、马场克树先生，日本驻中国大使馆新井达夫二秘，北京外国语学院王福祥院长、申春生副院长、“中心”李德主任、李书成副主任、陈海良副主任、佐藤保日方主任教授以及全体派遣教授，还有“中心”的部分工作人员和全体学生参加了开学典礼。陈副主任主持了会议。王院长、山田部长、李副主任、佐藤主任教授分别致了词，新生代表也作了发言。
- ◎ 9月4日晚6点，“中心”中方为欢迎日本国际交流基金山田部长、马场先生，新到的专家，在达园宾馆举行了欢迎会。参加欢迎会的有，国家教委、北京外国语学院的部分领导，日本国际交流基金山田部长、马场先生，“中心”的部分中方教职员工、及全体日方专家和家属。
- ◎ “中心”新图书资料室已于8月28日正式开始使用。现“中心”图书资料馆共分成三个阅览室。第一阅览室为日文图书，第二阅览室为中日友好文库，第三阅览室为中文图书，杂志、报纸等。
- ◎ 新生开始上课时间为9月9日。
- ◎ 9月12日，将进行本学期每周一次的公开讲座的第一讲。讲座题目见另页。
- ◎ 为使“中心”中日双方的教职员工和学生愉快的度过中秋佳节，“中心”将于9月20日举办“中秋晚会”。届时欢迎“中心”的各位先生、女士们踊跃参加。
- ◎ “中心”第4次硕士学位论文答辩第一阶段的准备工作已经结束。共有22人报名参加答辩，其中包括语言4人、文学5人、社会7人、文化4人、中日比较2人。答辩时间定于9月23日~25日，答辩委员由中日双方的教授、副教授担任。

1991年9月～1992年1月日本側派遣教授一覽

氏名	現職	担当科目	公開講座題目
佐藤保 (センター主任教授)	お茶の水女子大学教授	日中文学・文化比較研究	1991年春学期に講演済
磯貝英夫	ノートルダム清心女子大学文学部教授	日本近・現代文学特殊研究 日本近・現代文学演習	日本の近代化と森鷗外
永保澄雄	国際交流基金日本語教育専門家	日本語教授法A 音声音韻論	語の意味とその教え方について
窪田富男	東京外国語大学日本語科教授	日本語教授法B	日本人の対人意識と言語行動
宇野重昭	成蹊大学法学部教授	日本対外関係史	近代化論の再検討と国際政治 －内発的発展論の見地から 西洋「探索」と中国経験： 1860－1871
松澤弘陽	北海道大学法学部教授	思想史 思想史特殊研究 思想史演習	1991年春学期に講演済
杉山晃一 (センター社会・文化コース副主任)	東北大学文学部附属日本文化研究施設教授	社会文化論 社会文化論演習 社会文化論特殊研究	1991年春学期に講演済
溝口雄三	東京大学文学部教授	日中文化比較特殊研究	日本人はどのように中国を研究してきたか－その問題意識をめぐって 日本語の地域差
加藤正信	東北大学文学部教授	日本語学研究Ⅰ 日本語学特殊研究Ⅰ 日本語学演習Ⅰ	
田中隆昭 (センター言語・文学コース副主任)	宮城学院女子大学教授	日本古典文学 日本古典文学特殊研究 日本古典文学演習	源氏物語における歴史と虚構 －中国史書・伝奇との関係から－ 近代化と女子教育
大濱徹也	筑波大学歴史・人類学系教授	文化史 文化史特殊研究 文化史演習	
野坂幸弘	岩手大学教育学部教授	日本近・現代文学 日本文学論(近・現代) 日本地理風土論	伊藤整「幽鬼の村」の方法－モダニズムの一つの達成点として 1992年春学期に講演予定
向後紀代美 (センター研修コース副主任)	立教大学等非常勤講師		
小池清治	宇都宮大学教育学部助教授	日本語学特殊研究Ⅱ 日本語学演習Ⅱ 日本語学概論	『源氏物語』の呼称変換について ＝「蟋蟀」になった姫君＝
荒山裕行	名古屋大学経済学部助教授	日本経済・法制(経済)	租税における「効率性」と「公平感」 ハとガの相違について
坂口頼孝	別府大学文学部助教授	日本語学研究Ⅱ 日本語学各論	1992年春学期に講演予定
有末賢	慶応義塾大学法学部助教授	社会学 社会学特殊研究 社会学演習	
山下紀久枝	国際交流基金 日本語教育専門家	論文選読 文章表現研究	1990年秋学期に講演済
山田眞一 (センター主任教授補佐)	高岡短期大学講師	日中言語対照研究 日中言語比較論	1991年春学期に講演済
篠崎信夫 (日本側事務主任)	国際交流基金囑託		
伊香佐和子 (図書館情報大学修士修了)		(図書館資料館「蔵書目録補遺」作成指導)	



- ☆新学期が始まり、センター日本側の新しい先生方が着任された。この紙面を借りて、任期を終えて帰国された先生方、ならびに先学期から引き続き在職中の先生方に心から感謝の意を表したい。あわせて、新しくいらっしゃった先生方に歓迎の意を表したい。今学期の先生方については、「日本側派遣教授一覧」をご参照いただきたい。
- ☆9月4日午後2時半から北京外国語学院東院学術報告ホールにおいて、センターの開講式が行われた。中国国家教育委員会社会科学研究与芸術教育司外語教育処張文友副処長、同国際合作司アジア・アフリカ処閻麗氏、国際交流基金山田正春部長、馬場克樹氏、日本大使館新井達夫二等書記官、北京外国語学院王福祥院長、申春生副院長、センター中国側李徳主任、日本側佐藤保主任教授をはじめとする日中双方の先生方、職員、および全学生が開講式に参加した。陳海良副主任の司会により、王院長、山田部長、李副主任佐藤主任教授が入学を祝う辞を述べ、新入生代表が入学に際しての決意の辞を述べた。
- ☆9月4日夜6時、センター中国側によって、国際交流基金山田部長、馬場氏ならびに新任の先生方を歓迎するため、達園賓館において歓迎会が催された。この歓迎会には、国家教育委員会、北京外国語学院の関係者、センターの中国側教職員および日本側の先生方とその家族の方々が参加した。
- ☆センターの新しい図書資料館が8月28日から正式に開館され、1階は日本語図書、2階は中日友好文庫、3階は中国語図書、雑誌、新聞等の閲覧室となった。
- ☆9月9日から新入生の授業が開始された。
- ☆9月12日午後2時半からセンター1階階段教室において、今学期の第一回目の公開講座（磯貝英夫先生「日本の近代化と森鷗外」）が開かれる。今学期の公開講座の講座内容については「日本側派遣教授一覧」をご参照いただきたい。（なお、第2回目以降は午後2時～4時とする。）
- ☆センターの日中双方の教職員および学生が中秋節を楽しく過ごすため、9月20日夜7時から「中秋茶話会」が開かれる。この茶話会を通して、教職員と学生の間の親睦がもっと深められるものと思われる。
- ☆センター第4回学位審査・口述試問（答弁）が9月23日～9月25日に行われ、日中双方の教授、助教授が口述試問（答弁）委員をつとめる。学位審査申請者数は22名で、うち言語4名、文学5名、社会7名、文化4名、日中比較2名である。詳細は「第4回学位審査申請者一覧」をご参照いただきたい。

第4回学位審査申請者一覧

氏名	所属先	修士論文題目
劉銘傑	中国社会科学院語言研究所	中国語と日本語の閉鎖子音 —— 器機音声学による実験研究
譚 燕	北京日本学研究中心	中国語と日本語におけるアクセントの対照音声学的研究 —— 中国人日本語学習者に対するアクセントの教授法をめぐって
錢孟姍	洛陽外国語学院	新聞・雑誌における敬語 —— 大正から昭和三十年まで
*黄文溥	華僑大学	アスペクトから見る日本語複合動詞の内部構造
*張明傑	對外經濟貿易大学	芥川龍之介と中国文学
曾 妮	北京青年旅行社	芥川龍之介研究 —— 代表作「羅生門」の中国語訳を通して
林 濤	北京師範大学	円地文子「妖」試論
陸冰封	人民教育出版社	藤村詩における旅の心 —— 芭蕉の漂泊の思いとの関係をめぐって
梁海燕	華東師範大学	与謝野晶子の古典世界 —— 「源氏物語」との関係をめぐって
王宝平	杭州大学	「助語辞」及び江戸時代におけるその流布と影響に関する研究
劉潔秋	北京航空航天大学	「短編白話小説と読本」 「三言」と「英草紙」を中心に
*沈 京	東京女子大学大学院	三教一致をめぐる道元と如浄の立場
龔 穎	中国社会科学院哲学研究所	寛永期林羅山の思想と中江藤樹の思想
沈宝紅	福建師範大学	日本人の食生活の変遷について —— 近代化の過程における
孔繁志	北京連合大学外国語師範学院	70年代以降の日本の大学教育制度改革について —— 大学教育の質的向上を中心に ——
*張憶傑	對外經濟貿易大学	近代化と社会変動 —— 高度成長期における日本の社会変動と1978年以後の中国近代化過程との比較
宋金文	北京日本学研究中心	戦後日本の都市化と農村
李 軍	外交学院	戦後における日本の老親扶養の実態
丁 莉	新華旅行集团公司	高齢者社会における日本の高年齢者の雇用問題、対策及び中国に対する示唆
徐向東	對外經濟貿易大学	戦後における日本人の婚姻観に関する研究
董 莉	中国「橋」雜誌社	現代日本の都市における子供の社会化の特徴 —— 家庭内のしつけを中心として
徐建華	南京大学	熟練形成と日本の生産方式 —— 歴史の視点より

(注) *印→第3期生、無印→第4期生

更正：《第10号・第11号合并号》的自我介绍一栏中，刘耀武教授当时为中国日语教学研究会常务理事。